

目 次

■まえがき	1	2-9 明治期の数学雑誌	87
■編集方針・凡例	2		
序 章 総 説	11		
第1章 和算略説	15	第3章 東京大学の開設	91
*資料		*資料	
1-1 塵劫記(吉田光由)	24	3-1 帝国大学理科大学数学科の学科課程の変遷	96
1-2 日本数学遺題承継編(遠藤利貞)	26	3-2 明治時代の数学(小倉金之助)	97
1-3 古今算法記(沢口一之)	29	3-3 英国の数学者ケーレー(藤沢利喜太郎)	100
1-4 括要算法(関孝和)	31	3-4 第二回万国数理学会議景況(藤沢利喜太郎)	102
1-5 綴術算経〔その1〕(建部賢弘)	33	3-5 故第一高等学校教授数藤斧三郎君追悼の辞(藤沢利喜太郎)	106
1-6 綴術算経〔その2〕(建部賢弘)	34	3-6 藤沢教授セミナー演習録	108
1-7 弧背術解(安島直円)	36	3-7 日本の数学と藤沢博士〔その1〕(高木貞治)	112
1-8 和算の歴史——和算の性格(平山 諭)	38	3-8 先生〔藤沢利喜太郎〕の思ひ出(吉江琢児)	113
*明治前日本数学史略年表	42	3-9 父〔藤沢利喜太郎〕の思出(藤沢親雄)	114
第2章 洋算の摂取	45	3-10 新撰算術(高木貞治)	115
*資料		第4章 京都帝国大学数学教室(明治・大正期)	121
2-1 洋算用法(柳河春三) 西算速知(福田理軒)	58	*資料	
2-2 数学史研究 第二輯(小倉金之助)	59	4-1 京都帝国大学理科大学規定	133
2-3 『東京数学会社雑誌』第1号(東京数学会社)	63	4-2 日本数学物理学会昭和6年度年会記録	134
2-4 大日本数学史(遠藤利貞)	65	4-3 京都帝国大学数学教室卒業生	135
2-5 本朝 <small>数学</small> 通俗講演集	68	4-4 河合十太郎履歴書	137
2-6 菊池大麓について	75	4-5 京都帝大理工科大学, 理科大学, 理学部の各紀要に現われた数学論文	139
2-7 明治時代における数学用語集の研究(大矢真一)	81		
2-8 関口開先生小伝(上山小三郎・田中鉄吉)	85		

第5章 東北帝国大学と『東北数学雑誌』…143

*資料

- 5-1 東北大学五十年史 …… 153
- 5-2 東北大学数学科開設のころ (黒須康之介) …… 162
- 5-3 掛谷の問題 (平山謙) …… 164
- 5-4 数学者の回想 (小倉金之助) …… 165
- 5-5 東北帝大女子学生のころ …… 170

第6章 数学的思想と啓蒙活動(1) …… 175

*資料

- 6-1 西欧数学受容の地盤 …… 184
- 6-2 術語の選定 …… 185
- 6-3 論証幾何学の理解 …… 187
- 6-4 算術条目及教授法 (藤沢利喜太郎) …… 189
- 6-5 日本の数学と藤沢博士〔その2〕 (高木貞治) …… 190
- 6-6 新式算術講義——量の理論的取り扱い (高木貞治) …… 191
- 6-7 『数学叢書』の発刊 …… 193
- 6-8 微積分学の基礎 (林鶴一) …… 195
- 6-9 数理哲学研究 (田辺元) …… 197
- 6-10 若き科学者の随筆 (間島道彦遺稿) …… 199
- 6-11 数学史 (ボワイエ・林鶴一) …… 201
- 6-12 文化史上より見たる日本の数学 (三上義夫) …… 202
- 6-13 ワイエルストラス八十賀辰 (長岡半太郎) …… 205
- 6-14 『帝国百科全書』広告 …… 206

第7章 高木の類体論 …… 209

*資料

- 7-1 高木貞治先生を敬慕して (黒田成勝) …… 214
- 7-2 高木先生の思い出 (末綱愨一) …… 218
- 7-3 高木貞治著書および論文目録 …… 220
- 7-4 類体論論文の序文 (高木貞治) …… 221
- 7-5 回顧と展望 (高木貞治) …… 222
- 7-6 中学時代のこと (高木貞治) …… 227
- 7-7 明治の先生がた (高木貞治) …… 228

7-8 すとらすぶるぐニ於ケル数学者大

- 会ノ話 (高木貞治) …… 230
- 7-9 私の信条 (高木貞治) …… 232
- 7-10 相互律論文の序文 (高木貞治) …… 233

第8章 大学・高等専門学校の拡充 …… 235

*資料

- 8-1 北大理学部創生記 (太泰康光) …… 238
- 8-2 大阪大学理学部数学科の形成 …… 240
- 8-3 九大理学部の創設と社会事情 (近藤基吉) …… 244
- 8-4 名大理学部の生い立ちの記 (菅原健) …… 248
- 8-5 広島大学理学部数学教室の成立 …… 250
- 8-6 日本の大学の理学部、その科学社会史的側面 (広重徹) …… 251

第9章 昭和前期の数学界 …… 257

*資料

- 9-1 数学者の海外留学 …… 277
- 9-2 日本数学物理学会 …… 288
- 9-3 全国紙上数学談話会 …… 289
- 9-4 位相数学談話会 …… 291
- 9-5 函数方程式研究会 …… 294
- 9-6 テンゾル学会 …… 296
- 9-7 大阪帝国大学数学講演集 …… 298
- 9-8 共立社刊『輓近数学講座』 …… 303
- 9-9 第8次岩波講座『数学』 …… 305
- 9-10 各種の数学叢書 …… 307
- 9-11 主要単行数学書 …… 310

第10章 数学的思想と啓蒙活動(2) …… 317

*資料

- 10-1 『改造』アインシュタイン特集号 …… 327
- 10-2 ちんとれとーノばらだいす …… 330
- 10-3 数学雑談 (高木貞治) …… 331
- 10-4 過渡期の数学 (高木貞治) …… 332
- 10-5 テアイテトス (プラトン・田中美知太郎) …… 333

10 - 6	わが国に於ける日本数学史の研究 (小倉金之助)	336
10 - 7	『零の発見』(吉田洋一) と安倍亮書簡	338
10 - 8	白林帖 (吉田洋一)	340
10 - 9	数の博物館 (今野武雄)	341
10 - 10	統一科学論集 (ウィーン=シカゴ学派・篠原雄)	341
10 - 11	科学史の哲学 (下村寅太郎)	343
10 - 12	軌近代数学の展望 (秋月康夫)	346
10 - 13	数学通論 (末綱朝一・荒又秀夫)	348
10 - 14	現代数学の基礎概念 (上) (弥永昌吉)	350

第11章 戦時下の数学界

*資料

11 - 1	数学と民族性 (小倉金之助)	355
11 - 2	日本科学論序説 (前田隆一)	361
11 - 3	数学の辻説法 —— 日土大学講習会 (高木貞治)	366
11 - 4	『日本数学物理学会誌』終刊号	368
11 - 5	一青年科学者の手記 —— 戦時中の数学者の手紙 (安倍亮)	369
11 - 6	統計学に入るまで —— 戦時中の数学者の生活 (小川潤次郎)	372
11 - 7	藤原松三郎博士の想ひ出 (掛谷宗一)	374
11 - 8	終戦前後の日本数学会各支部の状況 —— 日本数学会の支部だより〔その1〕	375

第12章 戦後の純粋数学

*資料

12 - 1	日本数学会の誕生 (弥永昌吉)	390
12 - 2	日本数学会の最初の年会の記録	392
12 - 3	日本数学会の支部だより〔その2〕	394
12 - 4	日本数学会の支部だより〔その3〕	399
12 - 5	大学だより	403
12 - 6	数学の概観 (1940~1949) (日本数学会)	409

12 - 7	<i>Mathematica Japonicae</i> 第1巻 <i>Journal of the Mathematical Society of Japan</i> 第1巻 <i>Fuukcialaj Ekvacioj</i> 第1巻	416
12 - 8	学術用語集 (数学編) (文部省)	418
12 - 9	数学教育に関する意見書 (日本数学会)	419
12 - 10	日本数学会の「分科会 20年の歩み」	420
12 - 11	岩波数学辞典 (日本数学会)	428
12 - 12	日本数学会編『数学辞典』合評会 (新数学会人集団)	429
12 - 13	日本数学会 編集 数学辞典第2版 (河田敬義)	431
12 - 14	秋月氏の話 —— 数理解析研究所の設立 (秋月康夫)	434
12 - 15	数理解析研究所	435
12 - 16	岡潔君の文化勲章受賞 (秋月康夫)	437
12 - 17	松島与三氏と朝日賞 (長野正)	438
12 - 18	理学博士吉田耕作君の「近代解析の研究」に対する授賞審査要旨 (日本学士院)	440
12 - 19	雑誌『数学』に書評が掲載された数学書	441

第13章 統計科学の発展

*資料

13 - 1	雑誌『統計数理研究』(統計科学研究会)	450
13 - 2	統計数値表 I (統計科学研究会)	451
13 - 3	少数例の纏め方と実験計画の立て方 —— 少数例の統計理論 (増山元三郎)	452
13 - 4	数理統計学 (佐藤良一郎)	454
13 - 5	統計数理研究所の設置	455
13 - 6	統計推理の基礎 —— 母集団と標本 (河田龍夫)	456
13 - 7	技術と統計学 —— 推測統計学 (北川敏男)	457
13 - 8	推計学の話 (増山元三郎)	459
13 - 9	統計学の認識 (北川敏男)	461

13-10	『品質管理』創刊のことば (石川一郎)	462
13-11	簡易統計論 (亀田豊治朗)	463
13-12	日本人の読み書き能力 (読み書き能力調査委員会)	465
13-13	標本調査法による世論調査	467
13-14	世論調査の魔術 (田沼肇)	470
13-15	雑誌『科学』特集「推計学とその現代社会への貢献」	471
13-16	推計学の構成原理 (北川敏男)	472
13-17	近代統計学の社会的性格 —— その歴史的地位とイデオロギーの系譜 (大橋隆憲)	474
13-18	統計数理とは何か (水野坦)	476
13-19	統計学の対象と方法 —— ソヴェト統計学論争の紹介と検討 (有沢広巳)	477

第14章 電子計算機 481

*資料

14-1	戦争と計算機械 —— 戦時中の計算機械 (近藤基吉)	484
14-2	電子計算機の会議 —— アメリカにおける電子計算機の開発 (森口繁一)	487
14-3	計算機械 —— 電子計算機とその背景 (城憲三・牧之内三郎)	488
14-4	計算機械を習う話 (森口繁一)	490
14-5	パラメトロン計算機PC-1の開発 (高橋秀俊)	491
14-6	プログラム懇談会合記録	494
14-7	数理科学研究所の設置について (要望) (日本学会会議)	496
14-8	富士電算機計算所の計算料金	498
14-9	自動計算機のプログラミング (森口繁一)	498
14-10	電子計算機プログラミングに関するシンポジウムの開催	500
14-11	LKの証明のプログラミング (島内剛一)	501
14-12	日本科学技術研修所電子計算機センター目論見書	502

14-13	ALGOLによるプログラミング入門コース (日本科学技術連盟)	503
14-14	計算機の生いたち (一松信)	504
14-15	電子計算機による作曲 (関根智明・林大雅)	506
14-16	東京教育大学応用数理学科の発足 (赤根也)	508
14-17	情報科学の研究機関の設立について —— 科学研究計画第1次5カ年計画 (日本学会会議)	510
14-18	電子計算機工業の国際競争力強化のための施策に関する諮問に対する答申 (電子工業審議会)	512
14-19	数学への計算機の応用 (一松信)	514

第15章 数学的思想と啓蒙活動(3) 517

*資料

15-1	科学の言葉 —— 数 (ダンツィク・河野伊三郎)	529
15-2	古代数学史 (上) (三田博雄)	529
15-3	雑誌『基礎科学』	531
15-4	雑誌『科学基礎論研究』(科学基礎論学会)	532
15-5	雑誌『科学』特集「数学の新しい役割」	533
15-6	文学と数学の結合 —— 推計学による『源氏物語』の分析 (安本美典)	536
15-7	明治前日本数学史 (日本学士院)	537
15-8	近代日本数学史の編纂 (北川敏男)	538
15-9	幾何学思想史, 新幾何学思想史 (近藤洋逸)	539
15-10	数学史 (中村幸四郎)	541
15-11	サポールの業績の紹介 (村田全)	542
15-12	12世紀におけるユークリッド Data のラテン訳について (伊藤俊太郎)	544
15-13	中国の数学 —— 世界史的視野にたって (武田楠雄)	545
15-14	レンとフェルマ —— サイクロイドに関するパスカルの懸賞問題をめぐって (原亨吉)	547

15-15	集合論的世界像の建設——コー エンの業績の紹介(竹内外史)……………	549	16-6	N. Wiener による 1935 年の東京 帝大および大阪帝大の 数学教室 の印象……………	589	
15-16	数学基礎論の最近の 動向(近藤 基吉)……………	551	16-7	1950年以降の国際数学会議……………	590	
15-17	『数学セミナー』と『数理科学』……………	552	16-8	第11回国際数学会議〔1950年〕 (矢野健太郎)……………	591	
15-18	‘続・近代数学の展望’として (秋月康夫)……………	555	16-9	1954 年の国際数学会議(弥永 昌吉)……………	596	
15-19	数学者の肖像 園正造博士(本 田欣哉)……………	558	16-10	IMUの会長・書記および日本 からの役員……………	600	
15-20	日本数学会の学会講演・数学基 礎論分科会特別講演の記録……………	559	16-11	1965年にアメリカの大学で恒久 的な地位を得ていた日本人数学 者……………	600	
15-21	科学基礎論に関する国際的活動……………	560	16-12	戦後に来日した外国人数学者……………	601	
第16章 国際化の諸相 ……………			565	16-13	1955年の代数的整数論について の国際シンポジウム……………	602
*資料				16-14	A. Weil の印象(谷山豊)……………	604
16-1	<i>Mathematical papers from the Far East</i> (Yoshio Mikami)……………	576	16-15	1969年の函数解析学国際会議……………	605	
16-2	Y. Mikami: <i>Mathematical papers from the Far East</i> への評言……………	577	16-16	日本人数学者による欧文著書 のリスト……………	607	
16-3	草創期の東京・京都・東北帝国 大学数学教室員のおもな留学先……………	578	16-17	数学者への手紙——“頭脳流出” 解消案(長野正)……………	608	
16-4	<i>Japanese Journal of Mathematics,</i> Vol. 1 目次……………	578	■年 表……………	609		
16-5	東京帝国大学関係業績のリスト (1885~1940)……………	580	■参考文献目録……………	627		
			■索引……………	631		